

全専各連

ホームページから広報（PDF版）がダウンロードできます

No.186 2020年7月10日

発行：全国専修学校各種学校総連合会

発行人：福田 益和

編集人：菅野 国弘

〒102-0073

東京都千代田区九段北4-2-25

私学会館別館11階

Tel:03(3230)4814 Fax:03(3230)2688



全専各連会長に福田益和先生再任

新型コロナウイルス感染拡大防止への対応

新型コロナウイルス感染拡大防止に国内外で取り組む中、専修学校各種学校の教育現場にも大きな影響が出ています。

文科省はじめ政府から発出される通知は多岐にわたり、刻々変わる状況に応じた改定が重ねられていますが、全専各連としては速やかに最新の情報を会員校に届けることを最優先として対処して参りました。

1次補正予算の予備費支出や2次補正案策定の際には、専修学校各種学校への支援策について、議員連盟や文科省、財務省へも陳情、あわせて都道府県協会等には所轄庁である自治体への働きかけを、強く要請してきたところであります。

今後、新型コロナウイルス感染が収束に向かうとしても、各学校においては、遅れた授業進度の回復、実習等の手配や代替など、在籍学生生徒への対応とともに、留学生を含む次年度入学者の確保に向け、一層の尽力が求められることと拝察します。全専各連としては、この会員校各位からの声を十二分に考慮し、的確で具体的な情報の提供を推進していく所存です。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、全国専修学校各種学校総連合会及び同課程別部会においても、定例総会等は書面決議で行うこととなりました。なお、ブロック会議についても全ブロック中止となりました。

全専各連 第69回定例総会・第131回理事会を書面にて開催

6月17日、東京都・アルカディア市ヶ谷を会場として開催を予定していた全専各連第69回定例総会・第131回理事会は、4月7日「緊急事態宣言」が政府より発令されたことを受けて、新型コロナウイルスの感染拡大の予防ならびに行政からの不要不急の外出自粛要請を考慮して書面での開催に変更した。なお、定例総会構成員は138名、理事会構成員は62名。提出議案は次の通り。

【第1号議案 令和元年度事業報告（審議事項）】

【第2号議案 令和元年度決算報告ならびに監査報告（審議事項）】

第1号議案は令和元年度事業報告、第2号議案は令和元年度事業計画に基づく収支報告ならびに監査報告。

【第3号議案 令和2年度事業計画案（審議事項）】

【第4号議案 令和2年度収支予算案（審議事項）】



再任された福田益和会長

【第5号議案 令和2年度第1次補正予算案（審議事項）】

第3号議案は令和2年度における全専各連の事業計画、運動方針及び会議開催、委員会活動方針等について、第4号議案は令和2年度収支予算案、第5号議案は第1次補正予算案。第1号議案から第5号議案については特に質疑はなく、構成員の過半数により承認された。

【第6号議案 役員改選（審議事項）】

全専各連では本年が役員改選年であることから、第6号議案として会長及び監事選任手続きが行われた。はじめに、今回立候補した会長候補者は大阪府：福田益和先生〈推薦人9都道府県・10名〉。各ブロックから推薦された選考委員（北海道：吉田松雄副会長、東北：今泉玲子常任理事、北関東信越：渡辺敏彦常任理事、南関東：岡本比呂志副会長、清水裕理事、中部：鏑一郎常任理事、近畿：清水尚道常任理事、中国：横井司朗理事、四国：尾上一昭常任理事、九州：岩本仁副会長）と正議長（四国：河原成紀常任理事）の11名で選考委員会を組織し、互選により吉田副会長を選考委員長として選出するとともに、選考委員会として福田候補者を会長候補者として決定。吉田選考委員長が福田会長候補者を総会に推薦。構成員の過半数により福田会長候補者の会長就任が承認された。続いて監事の選任については、常任理事会から坂本歩先生、戸早秀暢先生、荒川栄一先生を推薦候補者として提案、構成員の過半数により承認された。以上により、定例総会、理事会におけるすべての審議事項について承認された。

専修学校等への支援の構築・充実に 関する議連決議を採択 各所へ提出

5月22日、全専各連は自由民主党専修学校等振興議員連盟（以下、議連）とともに、新型コロナウイルス感染症にまつわる要望のため財務省、文科省、及び内閣府を訪問した。

「新型コロナウイルス感染症の影響に対する専修学校各種学校への支援の構築・充実にの要望」として当会は会長名で①専修学校各種学校の学生生徒に対する修学支援の一層の充実②専修学校各種学校の行う授業料減免等への財政的支援の構築③遠隔教育の活用推進のための基盤整備への財政的支援の構築④国家資格等の指定養成施設における要件緩和の充実に挙げ、職業教育の継続のための支援を求めて、訪問した文科省総合教育政策局の浅田和伸局長に要望書を提出した。

当会の要望と併せて議連塩谷立会長をはじめとする役員が議連を代表して「新型コロナウイルス感染症の影響に対



官邸にて菅官房長官に申し入れ

する専修学校等への支援の構築・充実に関する決議」を採択した。内容は、本年4月の高等教育の修学支援新制度の弾力的運用や学生支援緊急給付金の創設給付への評価を前段として、①学生生徒を支援する専修学校への財政的支援②「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」のさらなる充実③国家資格等の取得に関する規則の要件緩和等を訴えた。議連は財務省、文科省、内閣府の各所に対しこの決議文を提出。財務省阪田渉主計局次長、文科省浅田局長、菅義偉内閣官房長官に手交を行った。議連決議手交の出席者は、塩谷会長、山谷えり子副会長、馳浩幹事長代理、松野博一副幹事長、原田憲治幹事、赤池誠章事務局次長。

団体要望の翌週5月27日には、令和2年度第2次補正予算が閣議決定され、①困窮学生等に対する支援・授業料等減免措置を講じた専門学校への緊急支援、②高等専修学校における消毒液、教材費等の学校再開に係る経費支援、③専修学校（専門課程・高等課程）での遠隔授業の実施に必要な環境整備の推進として、年当初予算に迫る計16.9億円（プラスWEBに掲載）が確保された。

全専協 令和2年度定例総会・理事会

6月18日、東京都・アルカディア市ヶ谷を会場として開催を予定していた全国専門学校協会令和2年度定例総会・理事会は、政府より「緊急事態宣言」が4月7日に発令されたことを受けて、新型コロナウイルスの感染拡大の防止ならびに行政からの不要不急の外出自粛要請を考慮して書面での開催に変更した。

なお、定例総会構成員は188名、理事会構成員は56名。提出議案は次の通り。

【第1号議案 令和元年度事業報告】

【第2号議案 令和元年度決算報告ならびに監査報告】

【第3号議案 令和2年度事業計画案】

【第4号議案 令和2年度収支予算案】

【第5号議案 役員改選】

第1号議案から第4号議案については、特に質疑はなく、構成員の過半数により承認された。なお、全専協では本年が役員改選年であることから、第5号議案として会長及び監事選任手続きが行われた。はじめに、今回立候補した会長候補者は大阪府：福田益和先生〈推薦人9都道府県・10名〉。各ブロックから推薦された選考委員（北海道：吉田松雄常任理事、東北：江島清彦理事、北関東信越

：渡辺敏彦理事、南関東：岡本比呂志常任理事、中部：鏝一郎理事、近畿：清水尚道常任理事、中国：関谷豊理事、四国：河原成紀副会長、九州：岩本仁常任理事）の9名で選考委員会を組織し、互選により吉田常任理事を選考委員長として選出するとともに、選考委員会として福田候補者を会長候補者として決定。吉田選考委員長が福田候補者を会長候補者として総会に推薦、構成員の過半数により福田会長候補者の会長就任が承認された。続いて監事の選任については、常任理事会から坂本歩先生、戸早秀暢先生、荒川栄一先生を推薦候補者として提案、構成員の過半数により承認された。以上により、定例総会、理事会におけるすべての審議事項について承認された。

春の叙勲・褒章の受章者

おめでとうございます

令和2年度春の叙勲・褒章が次の方々に贈られました。長年の努力と功績が認められた関係者のご芳名を掲載し、心よりお祝い申し上げます。（敬称略）

* 旭日中綬章

大橋 博（東京都：日本健康医療専門学校・学校法人
創志学園 理事長）

都築 仁子（東京都：お茶の水はりきゅう専門学校・
関東リハビリテーション専門学校・東京マ
ルチメディア専門学校・学校法人都築学園
理事長）

白井 成夫（山梨県：一般社団法人山梨県専修学校各種
学校協会 理事）

古澤 敏昭（広島県：専門学校広島自動車大学校 理事長）

* 旭日小綬章

吉井 真人（奈良県：ル・クレエ樞原美容専門学校
理事長）

* 瑞宝双光章

三上 教道（大阪府：大阪教育福祉専門学校
理事長）

* 瑞宝単光章

長川 泰次郎（兵庫県：姫路経営医療専門学校・
姫路歯科衛生専門学校 校長）

文部科学省人事異動

文部科学省において、4月1日付で以下のとおり人事異動がありました。（ ）内は前任者。敬称略。

- 専修学校教育振興室室長補佐 河村 和彦（宮本 二郎）
- 専修学校教育振興室専門官 佐々木 俊治（河村 和彦）
- 専修学校教育振興室第一係長 濱野 怜（水島 淳）
- 専修学校教育振興室 事務官 足立 佳之

【お知らせ】

協会等の代表者交代等

<都道府県協会代表者交代> 敬称略。

- ◇一般社団法人栃木県専修学校各種学校連合会
宮内 修
- ◇一般社団法人千葉県専修学校各種学校協会
矢部 明
- ◇一般社団法人鹿児島県専修学校協会
村田 直志

<名称変更>

一般社団法人新潟県専門学校協会

一般社団法人鹿児島県専修学校協会

(変更後)鹿児島市加治屋町15-5 第2出原ビル2-1

<住所等変更>

一般社団法人山梨県専修学校各種学校協会

(変更後)山梨県甲府市青沼3-10-1 学校法人伊藤学園

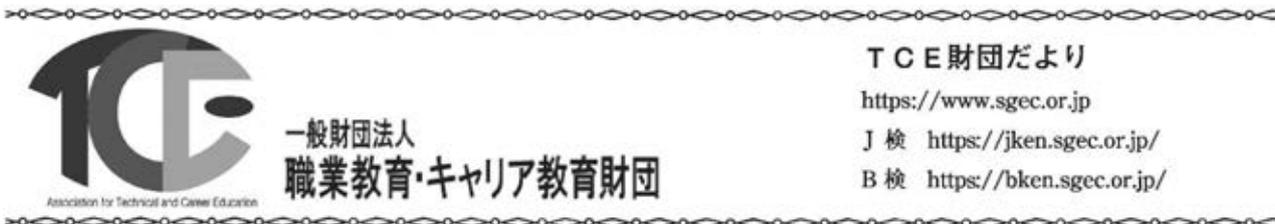
甲斐清和高等学校 内

◆全国専修学校各種学校総連合会/

一般財団法人職業教育・キャリア教育財団

事務局長交代 4月1日付 ()内は前任者

○菅野 国弘(菊田 薫)



TCE財団だより

<https://www.sgec.or.jp>J検 <https://jken.sgec.or.jp/>B検 <https://bken.sgec.or.jp/>**情報検定(J検) 出願状況**

令和2年6月21日(日)に予定されていた文部科学省後援情報検定(J検)前期情報活用試験(ペーパー方式)は、新型コロナウイルス感染拡大による影響のため、中止いたしました。あらためて受験を予定されていた団体の皆さまに深くお詫び申し上げます。

前期情報システム試験(令和2年9月13日(日))、および後期情報活用試験(令和2年12月20日(日))・情報システム試験(令和3年2月14日(日))は実施の予定で準備を進めております。

またパソコンを利用したCBT方式は、随時実施しております。試験日時を自由に設定でき、日時を分散させた実施も可能です。併願受験サポートプランも併せてご利用ください。J検ホームページに「無料体験版」をご用意しておりますのでお試しください。(※自宅での受験はできません)

【今後の試験日程】

(ペーパー方式)

前期情報システム試験：令和2年9月13日(日)

後期情報活用試験：令和2年12月20日(日)

後期情報システム試験：令和3年2月14日(日)

(CBT方式)

全試験・全科目で随時実施。

CBT方式(令和2年4月1日～令和2年6月17日受付)の出願者数は以下のとおり

情報活用試験

CBT方式 出願団体数 25団体

1級	70名	2級	59名
3級	232名	【合計	361名】

ビジネス能力検定ジョブパス 出願状況

令和2年7月5日(日)に予定されていた文部科学省後援ビジネス能力検定(B検)ジョブパス前期試験は、新型コロナウイルス感染拡大による影響のため、中止いたしました。あらためて受験を予定されていた団体の皆さまに深くお詫び申し上げます。後期試験(令和2年12月6日(日))は実施の予定で準備を進めております。

またパソコンを利用したCBT方式は、随時実施中です。試験日時を自由に設定でき、日時を分散させた実施も可能です。B検ホームページに「無料体験版」をご用意しておりますのでお試しください。(※自宅での受験はできません)

【今後の試験日程】(※1級はCBT方式のみ)

前期試験

・1級：令和2年9月12日(土)～20日(日)

後期試験

・2級3級(ペーパー方式)：令和2年12月6日(日)

・1級：令和3年2月6日(土)～14日(日)

CBT方式(2級3級)は随時実施。

第135回理事会・第91回評議員会

TCE財団第135回理事会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、6月5日付にて書面開催し、第91回評議員会は6月22日に、東京都・アルカディア市ヶ谷を会場

として開催した。

理事会は 5 月 26 日に福田益和理事長が理事会の決議の目的である事項を理事全員に対して提案。提案について 6 月 5 日までに理事全員から書面により同意の意思表示を得て異議を述べる監事がないことで、一般社団・財団法人法第 96 条及び当財団定款第 36 条 2 項の規程に基づき、当該提案を可決する旨の理事会があったものとみなされた。

評議員会は出席者 8 名を得て開会。中島利郎副理事長が開会あいさつ、堀口一秀評議員が議長、議事録署名人は大平康喜評議員を選出し審議に入った。

【第 1 号議案 令和元年度事業報告】

理事会では理事全員から書面により同意の意思表示を得た。評議員会では配布資料に基づき事務局が会議の開催、教員研修・研究、認定・表彰、検定、保険、出版・広報等、各事業の内容を説明。異議なく原案どおり拍手承認。

【第 2 号議案 令和元年度決算報告ならびに監査報告】

理事会では理事全員から書面により同意の意思表示を得た。評議員会では、配布資料に基づき事務局が説明した後、荒川栄一監事が監査報告を行い、異議なく原案どおり拍手承認。

【第 3 号議案 令和 2 年度第 1 次補正予算】

理事会では理事の全員から書面により同意の意思表示を得た。評議員会では、配布資料に基づき事務局が説明。異議なく原案どおり拍手承認。

【第 4 号議案 評議員会の招集について(理事会のみの審議事項)】

【第 5 号議案 定款施行細則の一部改正(理事会のみの審議事項)】

理事全員から書面により同意の意思表示を得た。

【第 4 号議案 理事の選任について(評議員会のみ審議事項)】

配布資料に基づき、事務局が任期満了に伴う理事の選任手続き、新理事候補者について説明。異議なく原案どおり拍手承認。

【第 5 号議案 評議員の選任について(評議員会のみ審議事項)】

配布資料に基づき、事務局が任期満了に伴う評議員の選

任手続き、新評議員候補者について説明。異議なく原案どおり拍手承認。

【第 6 号議案 監事の選任について(評議員会のみ審議事項)】

配布資料に基づき、事務局が任期満了に伴う監事の選任手続き、新監事候補者について説明。異議なく原案どおり拍手承認。

以上により、議長が全ての議案の審議、承認を確認し議事を終了した。

第 134 回理事会・第 90 回評議員会

3月18日、東京都・アルカディア市ヶ谷を会場としてTCE財団第 134 回理事会、第 90 回評議員会を開催した。理事会は出席理事 11 名、評議員会は出席評議員 10 名。福田益和理事長が開会あいさつを述べた後、理事会では福田理事長が議長に就任。議事録署名は議長及び監事。評議員会では平田眞一評議員を議長に、前鼻英蔵評議員を議事録署名人に選出し審議に入った。

【第 1 号議案 令和元年度第 2 次補正予算】(評議員会のみ議案)

配布資料に基づき、岡部隆男財務担当常務理事が概要を説明。異議なく原案どおり承認。

【第 2 号議案 令和 2 年度事業計画】

配布資料に基づき、事務局が会議の開催、教員研修・研究、認定、表彰、評価・認証、検定、保険、出版・広報についての各事業計画を説明。異議なく原案どおり承認。

【第 3 号議案 令和 2 年度予算】

配布資料に基づき、岡部財務担当常務理事が概要を説明、事務局が詳細を説明。異議なく原案どおり承認。

【第 4 号議案 評議員の選任について】(評議員会のみ議案)

現任評議員の任期満了に伴う、次期評議員の選任手続きについて、事務局が経緯及び評議員候補者推薦人の選任手続きについて説明。評議員による互選により、評議員候補者推薦人 3 名が選任された。

以上により、全て議案の審議、承認が確認され議事を終了した。

令和2年度 予定日程

<役員会・総会等>

●都道府県協会等代表者会議

令和2年11/27(金)

東京都・アルカディア市ヶ谷

<令和2年度ブロック会議>

今年度開催予定のブロック会議は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、すべてのブロックで中止になりました。

<研修会>

●中堅教員研修会

◇令和2年8/24(月)～26(水)「教員のキャリアデザ
インワークショップ」

◇令和2年9/7(月)「リスクマネジメント」

◇令和2年9/15(火)・16(水)「新任指導力」

◇令和2年9/24(木)・25(金)「体系的カリキュラム・
シラバス作成」

東京都・主婦会館プラザエフ(※全日程共通)

<検定試験>

●文部科学省後援・情報検定(J検)

◇令和2年度前期試験

【情報システム】令和2年9/13(日)

◇同 後期試験

【情報活用試験】令和2年12/20(日)

【情報システム】令和3年2/14(日)

◇C B T試験

【情報活用・情報システム・情報デザイン】通年実施

※情報デザインは、C B T方式のみで実施。

●文部科学省後援・ビジネス能力検定(B検)ジョブパス

◇令和2年度後期試験

【2級・3級】令和2年12/6(日)

◇C B T試験

【1級】令和2年9/12(土)～20(日)

令和3年2/6(土)～14(日)

【2級・3級】通年実施

<その他>

●第75回全国私立学校審議会連合会総会

令和2年10/29(木)・30(金)

東京都・ホテルグランドパレス

広報全専各連 プラスWEB掲載記事

詳細は、全専各連ホームページ【広報全専各連】→プラスWEBよりご覧いただけます。

<http://www.zensenkaku.gr.jp/koho/index.html>

■全国高等専修学校協会定例総会

■全国専修学校一般課程各種学校協会定例総会

◆令和元年度「職業実践専門課程」の認定等

◆令和元年度外国人留学生在籍状況調査結果

◆文部科学省二次補正予算(専修学校関係)

会員校の皆様へ

募集要項等に、3月31日までに入学辞退の意思表示をした者に授業料等を返還することを明記してあるか、不適切な記載がないかも併せ、改めてご確認ください。ご心配な点は都道府県所管課等とご相談ください。

本件に関わる通知等は全専各連ホームページにてご覧いただけます。

日本政策金融公庫(国の教育ローン)「災害特例措置」のご案内

平成30年北海道胆振東部地震、豪雨及び暴風雨による災害等、平成28年熊本地震、東日本大震災などにより被害を受けた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

日本政策金融公庫(国民生活事業)では、「国の教育ローン」につきまして、震災により被害を受けた皆さまに対して、貸付利率の引下げなどの「災害特例措置」を実施しています。

お問い合わせは、**教育ローンコールセンター 0570-008656(又は03-5321-8656)**



■情報検定(J検)は情報教育の柱となる「創る・使う・伝える」の三要素を網羅し、これからも学校教育を支援していきます。

<https://jken.sgec.or.jp/>

情報活用試験

ペーパー方式(団体出願のみ実施)

2020年度後期

試験日 2020年12月20日(日)

出願期間 手書願書—9月1日~11月10日(願書必着日)

電子願書—9月1日~11月17日(//)

実施級/受験料 1級—4,500円

2級—4,000円

3級—3,000円

情報デザイン試験

CBT方式のみ

詳細はJ検HPを参照下さい。

実施級/受験料 初級—4,000円

上級—4,500円

情報システム試験

ペーパー方式(団体出願のみ実施)

2020年度前期

システムエンジニア認定

プログラマ認定

試験日 2020年9月13日(日)

出願期間 手書願書—6月1日~7月31日(願書必着日)

電子願書—6月1日~8月3日(//)

※出願締切を延長しました

実施級/受験料 基本スキル—3,500円

システムデザインスキル—3,000円

プログラミングスキル—3,000円

情報検定全科目でCBT方式がご利用いただけます!

*パソコン画面で受験できる試験方式です。

従来のペーパー方式に加え、CBT(Computer Based Testing)方式でも実施いたします。

*個人受験をご希望の方はCBT方式をご利用ください。

◇各試験で随時受付中です。

◇受験料はペーパー方式と同一料金です。

◇自由に試験日が設定でき、合否結果もその場で分かります。

J検CBT無料体験版でお試しいただけます。(ホームページよりご利用ください。)

◇「併願受験」をサポートするプランも実施中です。

不合格、または欠席となった科目は1年間合格するまで何度でも受験できます。

(団体のみ対象。登録資格はwebにてご確認ください。)



文部科学省後援

ビジネス能力検定ジョブパス

(<https://bken.sgec.or.jp/>)

7月5日(日)前期ペーパー方式(2級3級)は、中止しました。

CBT方式は、随時申込可。試験日時を自由に設定でき、

日時を分散した実施が可能です。ホームページに無料体験版があります。

2級・3級(2020年度後期)[ペーパー方式]

■後期試験/2020年12月6日(日)

■出願期間/9月1日(火)~10月23日(金)

■実施級・受験料/2級(4,200円)

3級(3,000円)

【想定受験者と評価内容】

2級●就職活動のスタートを間近に捉えた大学生、専門学校生等から社会人1、2年目程度。●3級の知識を前提とし、企業の役割や責任と権限などを理解するとともに、効率的な業務の進め方、問題解決のための基本的なコミュニケーション、情報活用の技法を評価する。

3級●就職活動を視野に捉えた、高校3年生、大学生・専門学校生等●入学者自らの職業観や勤労観といった概念の形成を前提にビジネス常識および、基礎的なコミュニケーション、情報の利活用など、将来、職業人として適応するために身につけておくべき知識を評価する。

1級(2020年度前期)

■前期試験/2020年9月12日(土)~

9月20日(日)

(上記期間内から選択可。ただし会場設営状況による。詳細はホームページをご覧ください)

■出願期間/団体受験:7月6日(月)~

試験日の2週間前まで

/個人受験:7月6日(月)~

試験日の3週間前まで

■実施級・受験料/1級(8,500円)

(2級合格者が所定の期間に受験する場合5,500円※但し、1回のみ)

【想定受験者と評価内容】

●就職活動を展開中の大学生・専門学校生等から入社1年目から3年目程度の社会人。●2級の知識、技法を前提とし、問題解決を円滑に推進するために必要となる論理的な思考、情報発信と表現技法、および基礎的なマネジメント技法を実践的に評価する。

文部科学省認可 学生・生徒24時間共済

組合認可番号：27 受文科総第1713号
共済認可番号：27 受文科総第1714号
共済認可番号：26 受文科総第1718号

～卒業までの安心を全ての学生・生徒に提供したい～

学生・生徒24時間共済の特長

- ◇補償は毎年4月1日開始！
掛け金の振込は4月15日まで！
- ◇暫定人数での契約が可能！
概算契約・確定精算方式を採用！
- ◇名簿の提出不要！
契約時の手続きを大幅に簡略化！
- ◇低いコストで手厚い補償を提供！
共済制度は低コストでの運営が可能である為
民間の保険会社より安い掛金で手厚い補償を提供
1名あたり年間平均共済掛金：6,500円(100～499名)
- ◇剰余金の割戻
共済事業から発生する剰余金がある場合
組合員である学校に「剰余金の一部」を還元
することが可能

右記の基本プランの他、医療福祉分野プラン
など複数プランがございます。

学生・生徒が病院等の臨床実習先で感染症に
罹災したことによる治療費、検査/予防費を
補償します。

学生・生徒24時間共済補償【基本】



キャリア教育共済協同組合
Mutual Aid Cooperatives Career Education

お問い合わせ先
フリーダイヤル 0120-014-888

本部事務局 〒102-0073 東京都千代田区九段北4丁目2-25 (全国専修学校各種学校総連合会/一般財団法人職業教育・キャリア教育財団事務所内)
大阪事務局 〒542-0012 大阪府大阪市中央区谷町9丁目1-22

専修学校・各種学校の保険ご担当者さま

学生・生徒・学校のリスクをカバーします!!

こんな事で
お悩みではありませんか？



- ☑ 学校で生徒が事故にあったら大変..
- ☑ 学生がインターンシップ先でトラブルを起こしてしまったら.....
- ☑ 自転車通学中の事故が多いと聞くけど..

もしものときに手厚く補償。
安価な保険料で、安心の学校生活・学校運営を!

Point 1

「専修学校・各種学校の実情を熟知した財団が監修」

安価な保険料で、広く大勢の学生のリスクをカバーしています。

Point 2

「学生・生徒のために」

企業での就業体験としてのインターンシップが増え、それに伴い機械の誤作動によるケガや、機材の破損などに対する賠償責任事例も増加しています。本保険はインターンシップ中のトラブルにも対応しています。また、医療現場でのケガやトラブルにも対応しています。

Point 3

「学校のために」

学校教育活動全般を補償するのももちろん、個人情報のネットへの流出など、社会的な打撃が大きい情報リスクにも対応しています。(マイナンバー対応可)

NEW!

2019年度より臨床実習を実施する医療関連学科の学生・生徒を対象とする「感染予防費用補償特約」が追加となりました!

一般財団法人職業教育・キャリア教育財団が
つくった、専修学校・各種学校のための保険です。
そのため、キメの細かさにも自信があります。

加入校は約 **1,600**校

加入者は約 **21**万人 (2019年度)

さらに

学校単位の加入で、
申し込みも簡単!



■希望の多い保険の組合せ例

学生・生徒 災害補償保険 + インターンシップ 活動賠償責任保険

<取扱代理店> 株式会社 第一成和事務所
引受保険会社(特約)

お問合せ先 TEL.03-3669-2831



東京海上日動火災保険株式会社



三井住友海上



損保ジャパン

(担当課) 公積第2部文教公積室 東京都千代田区三番町6-4 電話03-3515-4133

インターンシップ活動賠償責任保険、個人情報漏えい保険、サイバーリスク保険につきましては、東京海上日動火災保険(株)の単独引受となります。

学生・生徒災害補償保険、留学生補償保険(総合生活保険(こども総合補償))、医療分野学生生徒賠償責任保険、学校賠償責任保険につきましては、上記保険会社による共同保険契約であり、東京海上日動火災保険(株)が他の引受保険会社の代理・代行を行います。各引受保険会社は、契約締結時に決定する引受割合に応じて、連帯することなく単独別個に保険契約上の責任を負います。なお、引受割合につきましては団体窓口にご確認ください。のご案内は、各保険の概要についてご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず各保険のパンフレットや重要事項説明書をよくお読みください。ご不明な点がある場合は代理店までお問い合わせください。